

つしま ドキュメンタリーアニメーション

対馬丸

— さようなら沖繩 —

企画 / 映画センター沖縄県連絡会議

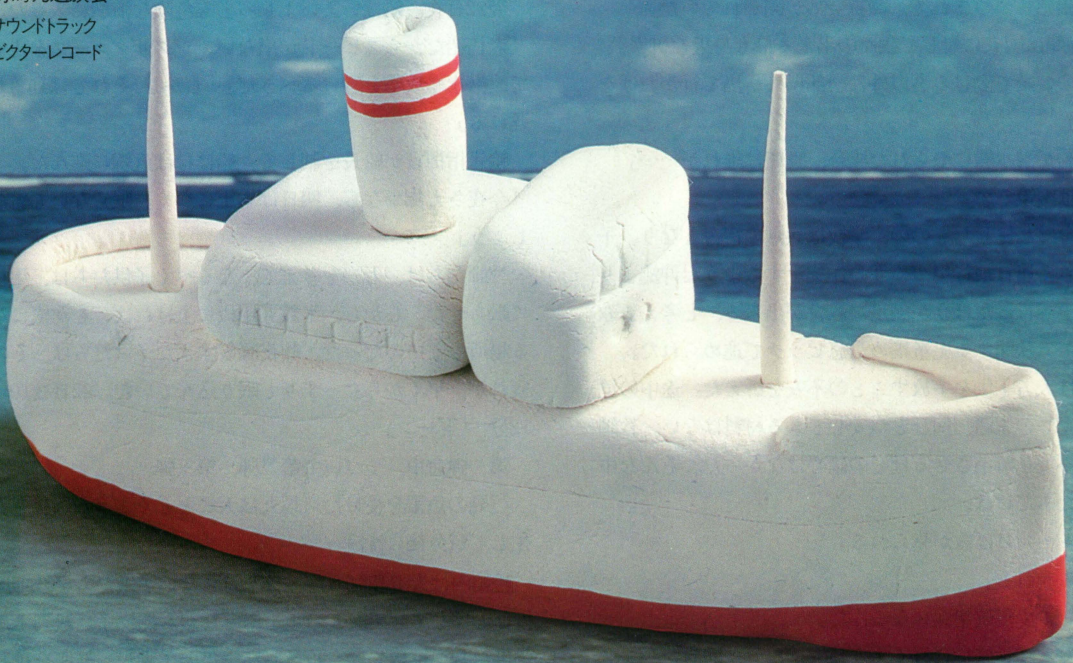
原作 / 大城立裕
(理論社刊)

製作 / 対馬丸製作委員会

製作協力 / 映画「対馬丸」を成功させる会

協力 / 対馬丸遺族会

主題歌 / サウンドトラック
ビクターレコード



「お母さん、ボクが行ったら淋しいかい」
「そりゃね、いまだって行かせたくないわよ……」

昭和19年8月22日、学童疎開船対馬丸は魚雷攻撃を受けて沈没。
死者1,458余名、生存者236名。



「対馬丸」で遭難した学童たちは、祈ることも知りませんでした。疎開を物見遊山とまちがえた無邪気なから、「疎開すればおちついて勉強できる」と夢を見ていたけれど、おとなたちの戦争のまきぞえをくって、死んでいきました。その責任を、誰かが負わねばなりません。(原作より)

プロデューサー 宇田川 東樹
 編集 伊藤 正昭
 撮影 古川 雅士
 音響効果 柏原 満
 音響監督 田代 敦巳
 色彩設定 渋谷 瑠美子
 美術 清水 一利
 音楽 梶田 靖識
 主題歌作詞作曲 (ビクターレコード)
 歌 KEI
 伊藤 薫
 山田みちしろ
 河内日出夫
 芝山 努
 謝名元 慶福
 干野 皓司
 大久保昌一良
 小林 治
 監督 小 林
 脚本 大 久 保
 脚 本 小 林
 監 督 小 林
 ヘスタップ

英 俊
 弘 子
 酒 井
 熊 倉
 一 雄
 ゆ き え
 悟 郎
 忠 男
 通 洋
 水 見
 柳 俊
 伊 知 郎
 愛 郎
 慶 幸
 早 苗
 伊 藤 弘
 小 森 伊
 沼 野 能
 陽 子
 陽 子
 タ ケ
 ミ ツ
 マ サ
 宮 里
 健 治
 清 丸
 田 中
 山 真
 弓 子

声の出演

あらすじ

昭和19年7月、沖縄各地には続々と兵隊が送り込まれ、戦火が身近に迫っていた。そんな中、那覇国民学校では重苦しい緊張感につつまれて、職員会議が開かれていた。

「学童疎開は国家に対して我々の出来る最も身近な御奉公だ。軍の要請で働ける者以外は全部県外へ出て行かねばならない」

「疎開船が潜水艦にやられた場合、責任は誰れが……」
 「疎開は国策です」

不安を感じはしたものの、学校は兵隊の宿舎となり、子供たちさえ連日飛行場づくりの作業をするような沖縄よりも、本土へ行ったほうが満足な教育が出来る、と考える教師もいて、疎開する児童集めが急ピッチで進められた。

父兄は大方子供を手放すことの不安を訴えた。途中の危険、向うでの生活、何ひとつ安心できる材料はない。教師たちも不安を解消させるほどの確信はなかった。そんな中で子供たちだけは、

「ヤマトへ行けば雪が見られる」
 「汽車に乗れる」
 「勉強して少年航空兵になるんだ」

などと、修学旅行に行くように喜んで疎開したがった。清は母親の反対を押し切って行きたいと訴え続けた。また親に内緒で疎開手続きをする子供もいた。

8月21日、対馬丸乗船のために、港には約5,000人の疎開者と見送り人が集まった

「乗るのは軍艦じゃないんですね」
 厚い雲に覆われた空とともに、親たちの胸に不安がよぎる。絶壁のように高い対馬丸の船腹を登り、甲板上に降り立った子供たちの中には、親と離れた淋しさにベソをかく子供もいたが、多くの子は初めての大きな船に興奮し楽しんでいった。

午後6時30分、船が動き出した。生憎小雨が降り始めた。「沖縄が見えない。この旅行は汚れたな」
 健治たちは肩を濡らしながらませた冗談を云って笑い合

った。

子供たちのざわめきを載せて、対馬丸は進んでいく。
 翌22日夜、船はいよいよもっとも危険な海域に入った。「老朽船だからスピードが出ない。ジグザグコースを走って、潜水艦攻撃を避けるべきだ」「しかし、それでは到着が遅れる」

輪送指揮官が船長を制して、船はほぼ直線に進んだ。
 「今夜さえ無事なら、明日は本土につく。眠らないで警戒しよう」

教師たちは、万一を考えて、なるべく子供たちは、甲板上に眠らせた。しかし、半数も甲板上に上げれば、もう横になる場所もないのだった。昨夜騒ぎすぎた子供たちは、その疲れか、早くからぐっすりと眠り込んでいた。22日夜10時12分「ドーン」

第一弾命中、つづいて第二弾、第三弾。
 三発の魚雷を受けた対馬丸は天にとどくような火災を発生して11分後に沈没。

船艙内は大混乱だった。目を覚さない子供たちを教師は投げとばして起す。人の頭をふみながら縄梯子に殺到する子供たち。甲板では、船員や高学年の子供が、舷側を越えられない子供たちを海に投げた。親子で、子供たちどうして、手を取りあって海に飛び込む。

しかし、大半の子供たちは船とともに沈んだ。
 浮遊物やイカダにつかまった子供たちを、台風の高波が襲う。フカが襲う。運が良い者は翌日漁船に救われる。6日目に島に流れついた子もいる。8日目に助かった者もいる。

約一ヵ月後、清をはじめ5人子供たちがひっそりと沖縄に戻されてきた。絶対に沈没の秘密を守るようにいわれて…
 10月10日、初の那覇空襲。人口6万の那覇市は焼土と化した。燃え上がる狂気のような炎を見ながら清は口を開いた。「対馬丸は沈んだんだ。健ちゃんも勇ちゃんも海に飛び込んで死んだよ。ボク何も話せなくて、つらかった……」

●10月の話題に応じてモーニング・ロードショー!

- 上映時間は各日午前9時30分～10時40分迄の朝1回上映です。
- 上映日は：10月24日(日)、10月31日(日)、11月3日(祝)、11月7日(日) 11月14日(日)、11月21日(日)、11月23日(祝)、11月28日(日)

池袋東急文化会館B1 東急レックス (407)7019	コマ劇場前 新宿東急 (200)1981	池袋バルコ先左側 池袋東急 (971)2727	●上映方法が特別ですので 上記日程をよくご覧の上 ご鑑賞日をおきめ下さい。
--	-----------------------------------	--------------------------------------	---